



令和3年5月18日

MFJ 公認競技主催者およびエントラント 各位

一般財団法人

日本モーターサイクルスポーツ協会

ST1000 クラス 登録タイヤの追加および2022年のタイヤスペック変更（予告）について

住友ゴム工業株式会社（ST1000 クラス タイヤワンメイクサプライヤー）より、新規フロントタイヤの追加申請があり、下記のとおり承認されましたのでお知らせいたします。

1. ドライ用フロントタイヤ KR151（H）の新規タイヤ追加

2021年全日本ロードレース選手権 第5戦 MFJGP 鈴鹿大会、第6戦 岡山大会、第7戦 オートポリス大会の3大会に限り、新規フロントタイヤの使用が認められる。

追加登録タイヤ : KR151 H（ハード）

適用 : 全日本選手権 第5戦 鈴鹿 第6戦 岡山 第7戦 オートポリス

発売開始日 : 2021年6月1日

ドライタイヤ フロント登録タイヤのリスト（全日本選手権用）

	品番	名称	サイズ
新規	350434	KR151 H（ハード）	120/70R17
現行	338324	KR149 M3（ミディアム）	120/70R17
現行	338325	KR149 H3（ハード）	120/70R17

運用 : 参加者は、各大会のタイヤ受け取り時に、3スペックのフロントタイヤから選択して使用することができます。

注意 : 2021年地方選手権 インター、ナショナル ST1000 クラスには適用されません。

2. 2022年全日本選手権および地方選手権 ST1000 クラスの登録タイヤの変更（予告）

ST1000 クラスのドライ用フロントタイヤは、「新規タイヤ KR151」に変更されます。

ドライタイヤ フロント登録タイヤの変更内容

品番	名称	サイズ
350432	KR151 MED（ミディアム）	120/70R17
350434	KR151 H（ハード）	120/70R17

- ・ 現登録タイヤ KR149（M3、H3）の使用期限は、2021年12月までを予定しています。
- ・ 新規タイヤは使用温度レンジ幅が拡大しており、現行タイヤの使用温度範囲+αをカバーされます。
- ・ ドライ用リアタイヤおよびウエットタイヤについては、変更の予定はありません。

以上